

SDGs未来都市等の選定結果 及び今後の取組について

令和元年度「SDGs未来都市」選定証授与式（令和元年7月1日）

令和元年度「SDGs未来都市」選定証授与式を開催した。安倍総理大臣からの挨拶に続き、選定された31の自治体にSDGs未来都市選定証が授与された。各都市において、総理他政府関係者との撮影も行った。

また、授与式終了後、片山地方創生大臣からの挨拶に続き、SDGs未来都市（31自治体）と政府関係者で集合写真を撮影した。



安倍総理大臣から選定証を授与
（鯖江市）



（熊本市・福津市・大牟田市） SDGs未来都市との写真撮影



（恩納村・徳之島町・大崎町）



安倍総理大臣御挨拶



片山地方創生担当大臣御挨拶



SDGs未来都市（31自治体）と片山大臣他との集合写真

地方創生SDGs官民連携プラットフォームによる民間参画や、地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環の形成を推進して参ります。

皆様と共に、「SDGs未来都市」の成功事例を全国の自治体に展開し、地方創生の動きを更に加速させる所存ですので、よろしくお願いいたします。

令和元年度 SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業選定都市一覧

緑字：SDGs未来都市（自治体SDGsモデル事業含む）

青字：SDGs未来都市

※県が選定されている場合は県全域を着色。



出典：国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/>) の白地図をもとに作成

	都市名	提案タイトル
SDGs未来都市 (自治体SDGsモデル事業含む)	福島県郡山市	SDGsで「広め合う、高め合う、助け合う」におりやま広域圏 ～次世代につなぐ豊かな圏域の創生～
	神奈川県小田原市	人と人とのつながりによる「いのちを守り育てる地域自給圏」の創造
	新潟県見附市	住んでいるだけで健康で幸せになれる健康都市の実現 ～「歩いて暮らせるまちづくり」ウォーカブルシティの深化と定着～
	富山県南砺市	「南砺版エコビレッジ事業」の更なる深化 ～域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装～
	福井県鯖江市	持続可能なめがねのまちさばえ ～女性が輝くまち～
	京都府舞鶴市	便利な田舎くらし『ヒト、モノ、情報、あらゆる資源がつながる“未来の舞鶴”』
	岡山県西粟倉村	森林ファンドの活用で創出するSDGs未来村
	熊本県熊本市	熊本地震の経験と教訓をいかした災害に強い持続可能なまちづくり
	鹿児島県大崎町	大崎リサイクルシステムを起点にした世界標準の循環型地域経営モデル
	沖縄県恩納村	SDGsによる「サングの村宣言」推進プロジェクト～「サングのむらづくり行動計画」の 高度化による世界一サングと人に優しい持続可能な村づくり～
SDGs未来都市	岩手県陸前高田市	ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり
	栃木県宇都宮市	SDGsに貢献する持続可能な“うごく”都市・うつのみやの構築
	群馬県みなかみ町	水と森林と人を育む みなかみプロジェクト 2030 ～持続可能な発展のモデル地域“BR”として～
	埼玉県さいたま市	SDGs国際未来都市・さいたま2030モデルプロジェクト ～誰もが住んでいることを誇りに思える都市へ～
	東京都日野市	市民・企業・行政の対話を通した生活・環境課題産業化で実現する生活価値(QOL)共創都市 日野
	神奈川県川崎市	成長と成熟の調和による持続可能なSDGs未来都市かわさき
	富山県	環日本海地域をリードする「環境・エネルギー先端県とやま」
	石川県小松市	国際化時代にふさわしい未来へつなぐ「民の力」と「学びの力」 ～PASS THE BATON～
	愛知県	SDGs未来都市あいち
	愛知県名古屋市長	SDGs未来都市 ～世界に冠たる「NAGOYA」～ の実現
	愛知県豊橋市	豊橋からSDGsで世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり
	滋賀県	世界から選ばれる「三方よし・未来よし」の滋賀の実現
	奈良県生駒市	いまSDGs未来都市～住宅都市における持続可能モデルの創出～
	奈良県三郷町	世界に誇る！！人にもまちにもレジリエンスな「スマートシティSANGO」の実現
	奈良県広陵町	「広陵町産業総合振興機構（仮称）」の産官学民連携による安全・安心で住み続け たくなるまちづくり
	和歌山県和歌山市	持続可能な海社会を実現するリノベーション先進都市
	鳥取県智頭町	中山間地域における住民主体のSDGsまちづくり事業
	鳥取県日南町	第一次産業を元気にする ～SDGsにちなみチャレンジ2030～
	福岡県大牟田市	日本の20年先を行く10万人都市による官民協働プラットフォームを活用した「問い」 「学び」「共創」の未来都市創造事業
	福岡県福津市	市民共働で推進する幸せのまちづくり～津屋崎スタイル～を世界へ発信
	鹿児島県徳之島町	あこがれの連鎖と幸せな暮らし創造事業

※都道府県・市区町村コード順

平成30年度・令和元年度 SDGs未来都市等 選定都市一覧

平成30年度選定（全29都市）

※都道府県・市区町村コード順

都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名
北海道	★北海道	静岡県	静岡市
	札幌市		浜松市
	二セコ町	愛知県	豊田市
	下川町	三重県	志摩市
宮城県	東松島市	大阪府	堺市
秋田県	仙北市	奈良県	十津川村
山形県	飯豊町	岡山県	岡山市
茨城県	つくば市		真庭市
神奈川県	★神奈川県	広島県	★広島県
	横浜市	山口県	宇部市
	鎌倉市	徳島県	上勝町
富山県	富山市	福岡県	北九州市
石川県	珠洲市	長崎県	壱岐市
	白山市	熊本県	小国町
長野県	★長野県		

令和元年度選定（全31都市）

※都道府県・市区町村コード順

都道府県	選定都市名	都道府県	選定都市名
岩手県	陸前高田市	滋賀県	★滋賀県
福島県	郡山市	京都府	舞鶴市
栃木県	宇都宮市	奈良県	生駒市
群馬県	みなかみ町		三郷町
埼玉県	さいたま市		広陵町
東京都	日野市	和歌山県	和歌山市
神奈川県	川崎市	鳥取県	智頭町
	小田原市		日南町
新潟県	見附市	岡山県	西粟倉村
富山県	★富山県	福岡県	大牟田市
	南砺市		福津市
石川県	小松市	熊本県	熊本市
福井県	鯖江市	鹿児島県	大崎町
愛知県	★愛知県		徳之島町
	名古屋市	沖縄県	恩納村
	豊橋市		

※黄色網掛けは「自治体SDGsモデル事業」選定自治体

※★はSDGs未来都市のうち都道府県

「健康」をキーワードに「経済」、「社会」、「環境」において、持続可能なまちづくりに向けた先導的取組を実施。オープンデータを活用した広域医療等の分析（EBPM）及びICTを活用した健康寿命延伸対策（EBM）を進めることで医療・健康産業の集積、健康寿命延伸・医療費抑制、環境負荷の少ない快適な生活環境の確保等を進める。

＜取組課題＞

医療・健康産業の集積・振興
～医工連携を核とした先進産業都市～

＜取組課題＞

健康寿命の延伸、医療費の抑制
～みんなが健康、みんなが担い手～

経済

産業

- 産業イノベーション事業（産官学金労言士の連携コーディネート、医工連携事業化コンサルティング）
- 多彩な市民とともに歩む新たな農業プロジェクト事業（アグリテック、農福連携）

農業

三側面をつなぐ統合的取組

「知の結節点」こおりやま
「全世代健康都市圏」創造事業

オープンデータを活用した健康づくり・生活習慣病予防対策、広域医療の分析（EBPM）

ICTを活用した科学的根拠に基づく保健指導による健康寿命延伸対策の推進（EBM）

「全世代健康都市圏」の創造

「知の結節点」として
「こおりやま広域圏」に拡大

社会

医療・健康

スポーツ

- 保健所と地域が一体となった健康推進
- 産医官連携によるがん検診の受診促進、糖尿病対策
- 簡易型自記式食事歴法質問票による実態調査・分析
- 科学的知見に基づき、プロが指導するスポーツを通じた健康づくり

環境

温暖化対策

エネルギー

環境学習

- 地球温暖化対策事業
- エネルギー地産地消推進事業
- 既存施設を活用した体感型環境学習施設の充実

＜取組課題＞

環境負荷の少ない快適な生活環境の確保
～良好な環境は成長・発展の源泉～



ふくしま医療機器開発支援センター



国立環境研究所福島支部



産総研 福島再生可能エネルギー研究所

恵まれた自然環境、地勢条件、歴史的に育まれてきた技や人、地域の絆などの社会的資源を強みとし、「おだわら市民学校」によるひとづくりやつながりの強化を中核に、ポイント循環による「つながりの見える化」、Society5.0の実証研究を通じて、「いのちを守り育てる地域自給圏」を創造し、豊かで、安全で、持続可能な暮らしを実現する。

<取組課題>

一次産業の基盤強化と暮らしへの定着
観光(交流)による地域活性化



経済

ものづくり

農林水産業

- 伝統的な地場産業の支援と育成
- 高技術・高品質のものづくりのPR促進
- 有機農業モデルタウンの取組
- 「木づかい」のまちづくり
- 農産物・水産物の地産地消とブランド化



農産物のブランド化



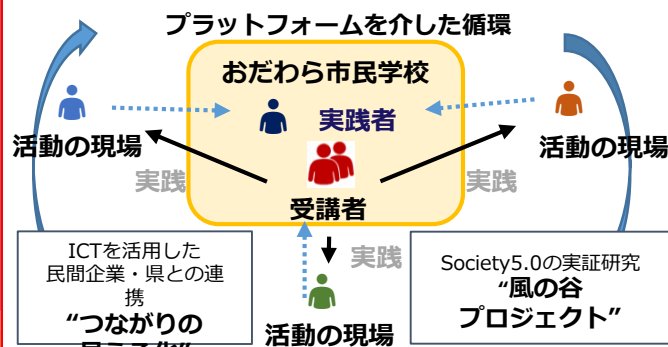
再生可能エネルギーの取組

<取組課題>

豊かな自然を次の世代へ引き継ぐ
エネルギーの地域自給

三側面をつなぐ統合的取組

“現場での学びと実践の循環”による人材・担い手育成
と地域課題の解決 → 公・共・私のベストミックス



環境

環境共生

環境再生・
保全活動

エネルギー

- 森里川海オールインワン環境先進都市としてのブランド確立
- 地域の環境再生・保全活動の推進
- 森林の再生
- 里地里山の再生と整備
- 水辺環境の整備促進
- エネルギーの地域自給に向けた取組

<取組課題>

地域コミュニティ組織の強化
地域資源を生かした協働の推進



社会

地域福祉

地域
コミュニティ

シニア活躍

- ケアタウンの推進
- スクールコミュニティの形成
- 地域コミュニティの強化
- プロダクティブ・エイジングの推進



子どもの居場所
(プレイパーク)



出かけたくなる場所の創出や歩きたくる歩行環境の整備、都市のコンパクト化、また、過度な自動車依存からの脱却を目指す公共交通の整備、自然災害への備えを統合的に進めることで、「歩いて暮らせるまちづくり」を市民に定着させ、「住んでいるだけで健康で幸せになれる健幸都市」を実現する。

＜取組課題＞
出かけたくなる場所の創出

経済

まちづくり

健康

- まちなか賑わい創出事業
- 総合型地域スポーツクラブ事業補助

三側面をつなぐ統合的取組

「歩いて暮らせるまちづくり」
ウォーカブルシティの深化と定着

- ・歩行量の増加
- ・健康寿命の延伸

グリーンスローモビリティ
の活用検討

- ・交流で賑わい創出
- ・CO₂削減

学校教育を通じた
子どもたちへの
SDGs教育

- ・地域への浸透
- ・自然災害の強靱化

ウェルネスタウンの
拠点化整備

＜取組課題＞

歩行環境の整備
都市機能の集約、街のコンパクト化

社会

交通

健康

環境保全

まちづくり

- 車両誘導看板設置事業
- 健幸ウォーキングコース路面標示
- 市民協働による植栽活動（環境面の取組としても整理）
- みつけイングリッシュガーデンの管理運営（環境面の取組としても整理）
- 立地適正化計画策定事業
- 空き家バンク

環境

交通

防災

- コミュニティバス事業
- デマンド型乗り合いタクシー運行事業
- バス停サイン更新事業
- 防災訓練の実施 ● 自主防災組織補助事業
- 防災スクール事業 ● ハザードマップ改訂版の作成

＜取組課題＞

自動車依存からの脱却
自然災害への備え

「歩いて暮らせるまちづくり」ウォーカブルシティのイメージ図



ウォーキング
イベントの様子



コミュニティバス
（市街地内を循環運行）



市民協働による植栽活動の様子

「南砺版エコビレッジ事業」の更なる深化 ～域内外へのブランディング強化と南砺版地域循環共生圏の実装～

南砺市の土徳文化を次世代に継承する取り組みや支え合いによるまちづくりの取組を通して、地域資源の循環や相互補完が可能となる人材育成プログラムや住民参加による自治組織形成を促進するとともに、これらを基金運営等により支えることで、SDGsおよび「南砺版エコビレッジ事業」を更に深化させ「一流の田舎」を実現する。

<取組課題>

「やりたいこと」が「できる」地域を実現

<取組課題>

心豊かで安心して暮らすことができる社会を実現
ひとと出会い、ひとと深くつながるまちを実現

経済

三側面をつなぐ統合的取組

文化と教育の連携・住民自治の再構築
コミュニティファンドの創出

土徳文化

文化伝承や
発信による
地域の誇り醸成

相互補完・循環

南砺幸せ 未来基金

活動資金や
人的ネットワーク等
を支援

小規模 多機能自治

住民参加による
真の住民自治の
再構築

環境

エネルギー

● 森林資源エコシステム構築

廃棄物

● 森里川海の連携「マイクロプラスチック、海洋汚染抑制」

人材育成

● いのちの森をつなぐ次世代人材の育成
「森の学校」「森の保育園」の創設

社会

観光・歴史

● 世界遺産合掌造り家屋の保存、茅場再生

● 地域の助け合いを育む
「地域包括ケアシステム」

● 新たな暮らし方の提案
「エコビレッジ住宅ゾーン事業」

● 小規模校や複式学級すべての人に教育を
「学校間をつなぐ遠隔協働学習」

● 観光・歴史
医療・介護
福祉

● 住宅
教育



地域包括ケアシステム
(住民主体のミニデイサービスでの軽運動)

<取組課題>

地域資源を活用・循環させ
ワクワクする「懐かしい未来を実現」

産業創出

人材育成

森林

- 「オーガニック街道」の整備
- 伝統産業のリデザイン
「南砺ブランド商品開発支援」
- クリエーター育成マッチング事業
- 森林資源を活用したビジネス再生



クリエイタープラザ
(ブランド商品開発、クリエイターの拠点)



森林資源エコシステム
(バレエ工場)

The diagram consists of two rectangular boxes connected by two curved arrows. The left box has a light blue background and contains the text: **<取組課題>**
地場産業の縮小・雇用のミスマッチ. The right box has a light orange background and contains the text: **<取組課題>**
若者の県外流出、女性活躍の障害. A blue arrow points from the left box to the right box, and an orange arrow points from the right box back to the left box, indicating a reciprocal relationship.



AIやICTなど先進技術の活用により日常生活の利便性向上や都市機能の効率的利用、ヒトとヒトのつながり強化、社会的弱者等の社会参画等を進め、新たな価値創造によりまちの持続可能性を高める「舞鶴版Society5.0」を推進し、未来型の便利ないなか暮らし『ヒト、モノ、情報、あらゆる資源がつながる“未来の舞鶴”』を実現。

<取組課題>
地域経済の維持・拡大

経済

人流・物流

農業

行政運営

- 京都舞鶴港スマート・エコ・エネルギーポート化推進事業
- 万願寺甘とう等におけるスマート農業の展開
- AIやRPAを活用した行政の効率化



スマート・エコ・エネルギーポート化による
京都舞鶴港の価値の拡大

三側面をつなぐ統合的取組

舞鶴版Society5.0実装推進事業

- ① J & J との連携による舞鶴版SDGsPR促進事業
- ② 共助による移動手段（meemo（仮称））導入による実証実験

資源をつなぎ活用する
ことで自立と共生を促進
決済データ/交通データ/
再エネデータ/マッチングデータ等

連携

民間企業
教育機関等
情報の
オープン化

- ① J & J との連携による舞鶴版SDGsPR促進事業
コワーキングスペース（株）J & J 事業創造が運営）による交流やIT人材育成
- ② 共助による移動手段等導入による実証実験
オムロンソーシャルソリューションズ(株)と進める乗り合い等マッチングサービスによる繋がる機会の創出

環境

エネルギー
循環型社会
適応策

- Re100 宣言（再生可能エネルギーの地産地消実現）
- ICTの活用による循環型社会形成の推進
- 産官学連携による防災・減災システム導入

<取組課題>
安心して生活できる環境の維持

社会

交通

ダイバーシティ

人づくり

- MaaS 導入のまち
- 農福連携を通じた社会的弱者の社会参画促進
- 舞鶴版Society5.0を担う未来創造人材の育成



子ども達への
プログラミング教室



赤れんがパークに設置した
コワーキングスペース

<取組課題>
舞鶴版「地域循環共生圏」の創造

森林信託事業による森林の集約化や、森林経営にそぐわない民有林について経済価値を判定した上での公有林化等を通し、地域全体の森林価値の最大化と最適化を目指す。資金調達にあたっては森林ファンドを組成するとともに、投資家を関係人口として位置づけ巻き込むことで、地域の持続可能性を向上させる事業にも好影響を与える。

<取組課題>

木材安定供給
森林資源平準化

<取組課題>

関係人口拡大
レジリエンス強化

三側面をつなぐ統合的取組

森林ファンドと森林RE Designによる
百年の森林 Ver.2.0

経済

移住+起業

関係人口

森林

- ローカルベンチャー(移住+起業)
- 基幹宿泊施設(関係人口拠点)
- 森林関係事業(拡大+安定化)

社会

福祉・教育

防災・減災

人材育成

- ソーシャルビジネスローカルベンチャー(福祉・教育等)
- 天然林化防災機能(レジリエンス強化)
- さとのば大学 ローカル研究所

環境

エネルギー

森林

- 再生可能エネルギー事業
- 百年の森林構想 森林信託
- 里山経済林

<取組課題>

環境林拡大
森林資源の多様化・効率化

定住しなくて、
いいんです。

ローカルベンチャー

村産材を使った
ローカルベンチャー製品

百年の森林構想



温泉施設新ボイラー

熱エネルギーセンター
チップボイラー

平成28年に発生した熊本地震での経験をいかし、自主自立のまちづくりを行う「地域主義」という基本理念にもとづいた「地域（防災）力の向上事業」により地域単位の防災力を高めるとともに、地域エネルギーの地産地消、EVによる電力供給、EVバスの導入促進等によりエネルギー（電力）を核としたライフラインの強靱化を促進。

<取組課題>

新しい熊本の成長をけん引する
地域経済の活性化

経済



農業

エネルギー

ヘルスケア

観光

- 日本一の園芸産地づくりの推進
- くまもと食の復興PR・ブランド化や地産地消の推進
- EVバスをはじめとする新産業の創出支援
- 医工連携によるヘルスケア産業の振興
- 自然環境や歴史施設、復興過程をいかし、観光の振興

三側面をつなぐ統合的取組

ライフライン強靱化プロジェクト

ごみ焼却施設の電力・余熱利用で健康増進施設運営→地域活性化（災害時は避難所）

①地域エネルギーの地産地消の発展

自立分散型エネルギーシステムで電気料金削減

②EVの電力供給に係る官民連携事業

防災・環境意識の向上（災害時は避難所等で電力供給）

地域エネルギー会社
EV充電拠点
平時/災害時併用

③EVバスの導入促進事業

産官学による中古バスのEV化による新産業創出（災害時は避難所等で電力供給）

低炭素化・大気汚染の低減

環境



自然環境

防災・減災

- 地下水の質・量の保全と地域循環
- マンホールトイレの設置等による避難所環境の向上
- 官民連携による防災井戸や電力の確保

<取組課題>

自然環境をいかした
防災・減災対策の強化

<取組課題>

災害時に力を発揮する
地域コミュニティの活性化

社会



健康

防災

- 健康を軸とした自主自立のまちづくり
- 避難所運営委員会設置と防災士養成
- 学校での防災教育、ESDの推進
- 災害時要援護者対策と地域包括ケアの構築
- 基幹公共交通軸の強化とバス路線網再編



大規模災害時に充電拠点から
EV、EVバスを避難所等へ

復旧中の熊本城

大崎システムを起点とした世界の人口一万人地域で応用可能な循環型地域経営モデルの確立に向けて、手間がかかるリサイクル、産業の担い手不足、多文化共生社会への対応等の課題解決アプローチとして国際化、地域内外連携、人材育成を図る。そのための統合的取組として多様性のある人材を集めてSDGs版総合戦略策定等の事業をおこなう。

<取組課題>

リサイクルビジネスの更なる国際展開



経済

人材育成

女性活躍

多文化共生

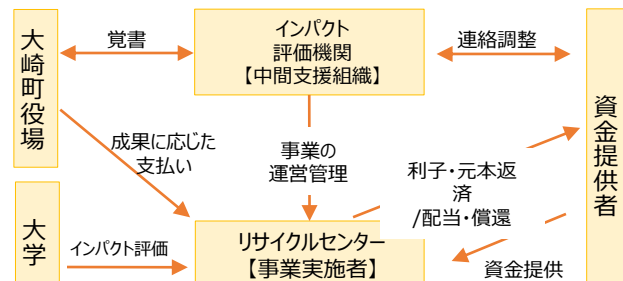
- 地域に人の流れを呼び込む人材育成・研修事業
- 女性の社会進出をサポートする小商い起業支援事業
- 多文化共生社会のしごと推進事業

三側面をつなぐ統合的取組

大崎システムを起点にした世界標準の循環型地域経営モデル

- ① SDGs版大崎町総合戦略の策定
- ② 廃棄物分野ソーシャルインパクトボンド調査事業
- ③ 「国際しごと・人材育成センター（仮）」設立支援事業

成果連動型大崎システム（仮）



<取組課題>

教育、多文化共生社会の実現



社会

教育

男性育児

多文化共生

インパクト評価

国際展開

- 公教育を補完する子どもキャリアサポート
- 男性育児参加応援モデル事業
- 多文化共生センター、多文化共生住宅整備
- ウェルネス向上事業と社会インパクト評価調査
- リサイクル起点で世界とつながるグローバル教育事業
- 海外研修生・実習生対象の日本語学校設立支援事業

環境



リサイクル

国際連携

- ゴミ集積所デザイン事業
- 「もっと楽に」「もっと世界とつながる」リサイクル機材開発事業
- 使用済み紙おむつの再資源化事業の社会的インパクト調査
- リサイクルでつながるインドネシアとの自治体連携モデル事業

<取組課題>

リサイクル、ゼロウェイスト、エネルギーの地産地消



SDGs版総合戦略策定の様子

- ・「世界標準、大崎」をコンセプトに、女性・若者・外国人等の多様性のある住民の参加
- ・SDGsの目標年次2030年に町の中心的な役割を担う40歳以下の住民参画によるSDGsの推進普及

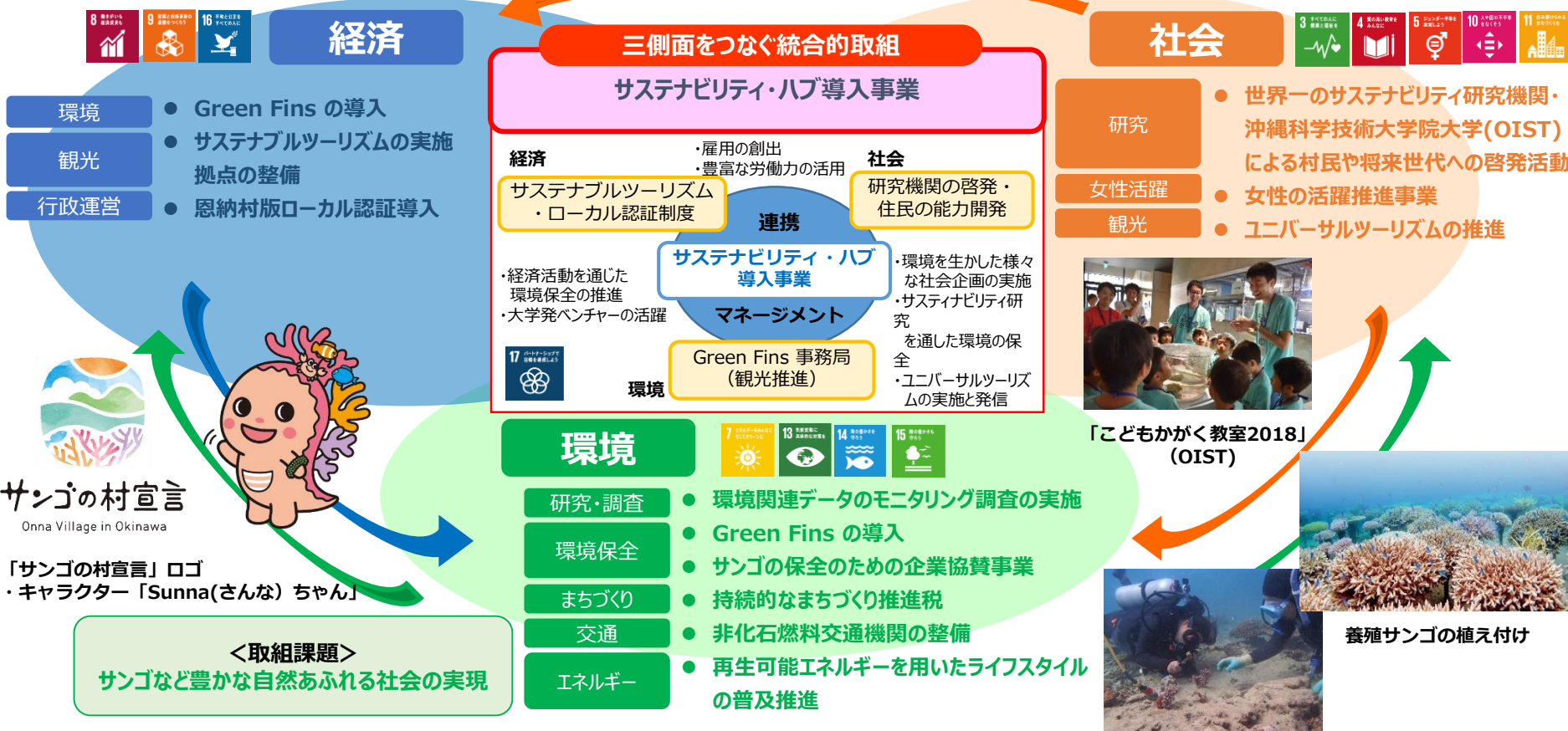


インドネシアとの連携

サンゴをはじめとする豊かな自然環境の保全により、観光産業の高付加価値化を図り、その収益を村民に還元する仕組みを構築する。サステナブルツーリズムの実現や、将来世代の育成と全員参加型社会の実現、サンゴなど豊かな自然あふれる社会の実現に向けて各主体が連携するサステナビリティ・ハブ導入事業で相乗効果を生み出す。

<取組課題> サステナブルツーリズムの実現

<取組課題> 将来世代の育成と全員参加型社会の実現



令和元年度選定「SDGs未来都市」に係る今後のスケジュール

